

第7次総合計画（案）市民説明会 開催結果

1. 開催目的

第7次総合計画の計画案について、市民の理解を深めるとともに、市民からの意見等を聴取し計画に反映するため、広く市民を対象とした説明会を開催する。

2. 開催状況

日 時：令和4年10月5日（水） 18：30～20：30

場 所：上越文化会館 中ホール

参加者数：38人（男性：29人 女性：9人）

※参加者の年代層：20代～80代、そのうち、40代以下が全体の37%であった。

3. 内 容

- ・市が「第7次総合計画（案）」について、概要を説明
- ・説明後、参加者からの質疑、意見等に対応



説明会当日の様子



当日配布資料

【説明内容】

1. 総合計画の策定過程
2. 第7次総合計画の全体構成
3. 基本構想
 - ・基本理念
 - ・将来都市像
 - ・土地利用構想
4. 基本計画
 - ・基本目標別施策
 - ・重点テーマ
 - ・計画の推進に当たって
5. パブリックコメントについて
6. 巻末資料（各種データ）

4. 主な質疑・意見

第7次総合計画（案）全体について
<ul style="list-style-type: none">・第6次総合計画の評価・検証をしっかりと行い、上越市と同規模の他市において効果があった政策を参考に取り組むべきである。（春日区・70代）・人口減少対策が一番の課題だと思うが、第6次総合計画の取組を推進し、どのくらい人口減少対策に効果があったのか、その評価を知りたい。また、課題の解決に関する成果指標を設定してはどうか。（春日区・30代）・総合計画は市民と共有しなければならないと考えている。市ホームページを見られない環境の方もいることから、市は要請があれば団体には出向いて説明するといったメッセージを出してほしい。（直江津区・70代）
基本理念・将来都市像
<ul style="list-style-type: none">・「快適で幸せな暮らしの実現」「暮らしやすく」といった表現は主観的で、自分が良ければよいという自己中心的な感じを受ける。まちづくりの観点では「感謝にあふれたまちづくり」等、他者と協力していくような表現が必要ではないか。まちづくりに関心が低い方をいかに巻き込んでいくかが課題だと考えている。（高田区・60代）
基本計画
<ul style="list-style-type: none">・地域独自の予算について、総合計画とも関係してくるのであれば、現在の地域協議会にも個別に説明する必要があるのではないかと。（頸城区・50代）・人口が減ってきた場所ではデジタルの活用が重要になるが、人口の多い所しかケーブルテレビが整備されていないなどの課題がある。デジタルのインフラ整備を強化してほしい。（牧区・60代）・山間集落をつなぐ道を整備するなど、土地を有効利用してほしい。また、上越妙高駅を市民が憩える公園として整備してほしい。（三和区・70代）・もっとたくさんの市民からの意見を吸い上げるように工夫してほしい。SNS等を利用して、若者にも届く情報発信を考えてほしい。（金谷区・30代）・発達支援が必要な子どもが増えている原因として、ゲーム依存やネット依存が関係していると感じている。子どものゲームやネット時間を規制するなどの議論を始めていく必要があるのではないかと。（名立区・50代）・未来のまちづくりの主役となる、今の子どもたちが「こども会議」等で意見する場ができるとうい。（有田区・40代）
重点テーマ
<ul style="list-style-type: none">・まちづくり市民意見交換会に参加し、意見してきたことが、重点テーマの「コミュニティ」として明記されてよかった。「脱炭素」も「デジタル」も注力して推進してほしい。（頸城区・50代）
その他
<ul style="list-style-type: none">・このような機会に参画するためにも、開催時間ややり方を工夫してほしい。気持ちはあっても、子育て世帯は平日の夜の参加は難しい（直江津区・30代）